

## 古川駅東住宅

所在地	古川駅東一丁目5番45号
構造	鉄筋コンクリート造4階建
附帯施設	物置、集会所1カ所(住宅棟内)、駐車場、駐輪場
完成	平成26年9月

間取り	整備戸数	空き戸数
1DK	6	—
2DK	17	1
3DK	6	—
3LDK	6	—
合計	35	1



## 古川駅前大通住宅

所在地	古川駅前大通四丁目3番3号
構造	鉄筋コンクリート造6階建
附帯施設	物置(住宅棟内)、集会所1棟(別棟)、駐車場、駐輪場
完成	平成26年10月

間取り	整備戸数	空き戸数
1DK	6	3
2DK	17	—
3DK	6	—
3LDK	6	—
合計	35	3



## 古川七日町住宅

所在地	古川七日町8番3号
構造	鉄筋コンクリート造5階建
附帯施設	物置(住宅棟内)、集会所1棟(別棟)、駐車場、駐輪場
完成	平成26年12月

間取り	整備戸数	空き戸数
1DK	5	—
2DK	15	2
3DK	5	—
3LDK	5	1
合計	30	3



## 鹿島台姥ヶ沢住宅

所在地	鹿島台木間塚姥ヶ沢69番地 ほか
構造	木造平家、木造2階建
附帯施設	物置、集会所1棟(別棟)、駐車場、駐輪場
完成	平成27年6月

間取り	整備戸数	空き戸数
1DK	10	9
2DK	25	22
3DK	10	3
合計	45	34



## 田尻沼部住宅

所在地	田尻沼部字新家前47番地
構造	木造平家、木造2階建
附帯施設	物置(住宅棟内)、駐車場、駐輪場
完成	平成26年7月

間取り	整備戸数	空き戸数
2DK	2	—
3DK	3	1
合計	5	1



## 古川十日町住宅

所在地	古川七日町8番28号
構造	鉄骨造7階建
附帯施設	物置、集会所1カ所(住宅棟内)、駐車場、駐輪場
完成	平成27年5月

間取り	整備戸数	空き戸数
1DK	3	1
2DK	11	4
3DK	3	1
3LDK	3	—
合計	20	6



# 震災復興へ 共に歩む

市内6カ所に170戸の  
災害公営住宅が完成

災害公営住宅は、東日本大震災の被災によって住宅を失い、経済的な理由などで自力での住宅確保が難しい人たちが、一日も早い生活の安定・向上のため、比較的安価な家賃で入居できる公営の住宅です。

市では、国の補助を受けて、古川地域、鹿島台地域、田尻地域に合せて6カ所、170戸の災害公営住宅の整備を進めてきました。

建設に当たっては、応急仮設住宅の入居者の皆さんを対象に、平

成23年12月と平成24年5月の2度にわたってアンケート調査を行い、意向の把握に努めながら整備計画を立て、平成25年から建設をスタートさせました。

6月で計画したすべての住宅整備が終了し、すでに完成した住宅から順次、入居が始まっています。

復旧・復興から再生・発展へ。大崎市災害公営住宅の概要と申込方法、災害公営住宅のコミュニケーションづくりなどについてお知らせします。震災復興へ向けて、共に歩んでいきましょう。

※各住宅の空き戸数は、平成27年6月18日現在の数値です。入居の申し込みは4ページを参照してください。

## 入居の申し込み方法

### ■入居できる人

- 次のすべての要件に該当する必要がある。
- ①被災時に入居していた建物が、全壊・全焼・全流出した人、または大規模半壊・半壊で建物が解体されている人。被災時に避難指示区域に住んでいたため避難している人
  - ②現在、住宅に困っている人
  - ③入居者とその同居人が暴力団員ではないこと
  - ④被災者生活再建支援法に規定する被災者生活再建支援金で、住宅を建築・購入・補修している場合は、住宅の再建が完了していないこと

### ■申込方法

- 各住宅ともに、随時、申し込みを受け付けています。入居希望の住宅の空き状況を建築住宅課へ確認し、同課で配布している「大崎市災害公営住宅入居仮申込書」に必要事項を記入し、次の必要書類を添えて申し込んでください。
- ①り災証明書
  - ②自宅の解体を証明する書類
- ※全壊の場合、解体証明は必要ありません。

### ③記載省略が無い入居する人全員分の住民票の写し

- ④前年度の所得証明書(扶養されている人は、前年度の非課税証明書)
- ※郵送で申し込む場合、記入漏れや添付書類の不備があると、受け付けできませんので注意してください。

### ■間取りと入居者数

偏りがないよう、あらかじめ次のようにしています。また、階数や部屋番号は希望できません。

間取り	入居者数
1DK	1~2人
2DK	1~3人
3DK	2~4人
3LDK	3人以上

### ■連帯保証人

連帯保証人は、原則、市内の人で、入居者と同等以上の収入があり、万が一の場合、入居者に代わって、弁済可能な人となります。どうしても市内に連帯保証人を頼める人がいない場合は、相談してください。

問 建築住宅課 ☎238054

## 災害公営住宅のコミュニティづくり

完成した災害公営住宅から、順次入居が始まり、それぞれの新しい暮らしが始まっています。

入居者は、被災時と心身仮設住宅からの2度に渡る転居を余儀なくされ、その度に、生活環境が大きく変わる経験をしてきました。

安住の地として災害公営住宅への入居を決断したものと思われませんが、一方では、慣れ親しんだ地域から不慣れな地域への転居とも言え、仲間や知り合いづくりもゼロからの出発になることなどが、「孤立」を生みやすくなると言われていています。

市では、入居者同士あるいは入居者と地域の皆さんとのコミュニティづくりが円滑に進むよう、災害公営住宅が立地する行政区や町内会、関係機関やボランティアの皆さんなどと連携して、入居者同士あるいは入居者と地域の人たちが集い、交流できるきっかけづくりを行っています。

### ■災害公営住宅がイベント会場

七日町住宅が建つ七日町商店街では、住宅入居者へ鍵の引き渡し式が行われた今年1月17日以降、毎月17日を「なないろデー」と定



▲毎月17日、趣向を凝らした企画で賑わう「七日町テラス なないろデー」

め、七日町住宅の集会所を活用したイベントが開催されています。入居者や地元の皆さんはもちろん、一般のお客さんも参加できる楽しいイベントは、交流を生み出し、人と人、人と地域をつなぐ役割を果たしています。

### ■お茶っこ飲みで広がる輪

駅前大通住宅では、入居者の皆さんが互いに声を掛け合い、集いの場を開きました。

遠くから見かけたことはあるけど、初めて言葉交わしたという人がほとんどでしたが、お茶や漬物を囲んで、同じ境遇、同じ屋根の下で暮らす者同士、すぐに打ち



▲初顔合わせの人も、この日を境に気兼ねなく話せる仲間

解けて会話も弾みました。生い立ちや震災後の暮らし、得意なことなど、自己紹介でひととなりを知ることができ、場が和むにつれ「今度みんなでパーベキューでもやりたいね」という話も聞かれ、ちよっとしたきっかけが、入居者同士のコミュニケーションを円滑にしていきました。

### ■被災者支援相談員

平成27年6月18日現在、災害公営住宅の入居世帯数は122世帯。心身仮設住宅として市内の民間賃貸住宅(みなし仮設住宅)などの入居世帯は、267世帯となっています。

被災し市内で暮らす皆さんの支えとなるよう、市では、4人の「被災者支援相談員」を配置しています。

みなし仮設住宅や災害公営住宅を定期的に個別訪問し、生活全般にわたるさまざまな悩みごとを聞いて、関係部署につないだり、市の情報を伝えながら、1日でも早く普通の生活ができるようにお手伝いしています。また、2人の看護師が、体調が気になる人を定期的に訪問しています。困りごとや不安なことがあるときは、気兼ねなくご連絡ください。

問 まちづくり推進課 ☎235069



▲被災者支援相談員は、不安や悩み事を聴くなどしながら、入居者の皆さんに寄り添います

### ■家賃について(目安)

家賃は、前年度の所得、住宅の広さ、家族構成などにより算定し、毎年見直されます。住宅によって異なりますが、鹿島台姥ヶ沢住宅の家賃を参考として掲載します。

入居者の収入月額	1DKの家賃	2DKの家賃	3DKの家賃
0円	4,800円	6,800円	7,100円
1円～ 40,000円	8,100円	11,600円	12,000円
40,001円～ 60,000円	11,400円	16,300円	16,900円
60,001円～ 80,000円	14,700円	21,100円	21,800円
80,001円～ 104,000円	15,600円	22,300円	23,000円
104,001円～123,000円	18,000円	25,800円	26,600円
123,001円～139,000円	20,600円	29,500円	30,400円
139,001円～158,000円	23,200円	33,300円	34,300円
158,001円～186,000円	26,500円	38,000円	39,200円
186,001円～214,000円	30,600円	43,900円	45,300円
214,001円～259,000円	35,800円	51,400円	53,000円
259,001円以上	41,300円	59,200円	61,100円

※収入額が8万円以下の場合、平成31年まで減免措置があります。



▲(参考)鹿島台姥ヶ沢住宅2DKタイプの間取り